

ITエンジニア科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

.....

船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051

.....

ITエンジニア科1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
2019年度教育目標と検定スケジュール	6
ハードウェア	田所 博	7
ソフトウェア	田所 博	8
システム設計	田所 博	9
情報セキュリティ	山口 弘展	10
データベース	田所 博	11
Oracleデータベース設計	田所 博	12
ネットワークとセキュリティ	石川 雄介	13
Java言語演習Ⅰ・Ⅱ	石川 雄介	14
アルゴリズムとデータ構造	田所 博	16
検定対策Ⅰ	山口 弘展	17
検定対策Ⅱ	田所／石川	18
Office演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 薫	19
やってみなはれ演習Ⅰ・Ⅱ	田所 博	21
ストラテジとマネジメント	田所 博	23
表計算演習	田所 博	24
ビジネス実務	高橋 豊	25
国家試験対策	田所 博	26

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

- A 80以上
- B 50～79
- C 40～49
- D 39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
- ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
- ※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
- ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

2019年度 教育目標と検定スケジュール

1年生

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省基本情報技術者試験、シスコ技術者認定試験の合格 ・情報処理技術者の基礎となる幅広い知識の習得 (システム設計技法、プログラミング技術、データベース利用技術、ネットワーク、情報セキュリティ) ・システム構築に必要な論理的思考能力の向上
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報、応用情報技術者試験 ・オラクル認定Javaプログラマ (Bronze) ・CCNA
1年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・J 検情報活用試験2級(もしくはITパスポート試験以上の国家資格) ・MOS Excel
2年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・COENT
卒業条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定3級 ・ビジネス能力検定(B検) ジョブパス3級

ITエンジニア科 3年制

<方針>

- ①企業に役立つ高度な人材及び良き社会人としての成長を目指す
- ②プログラミング、設計技法に加え、ネットワーク、セキュリティの知識を習得し、多様な資格取得にチャレンジする
- ③オプジェクト指向の基礎に留まらず、Webアプリ/携帯アプリ開発技術を習得する

- 1年次：資格取得(座学中心)
 - ・基本情報技術者試験合格を第一目標に、IT基礎知識を身につける
 - ・アルゴリズムの授業に力を入れ、プログラミング力を高める
- 2年次：演習+資格取得
 - ・COENTの取得を目指す
 - ・上位資格のCCNA・応用情報技術者試験の取得講座を実施する
 - ・グループで携帯アプリ開発に取り組み、システムエンジニアやプログラマの仕事への意識を高め、就職活動に備える
- 3年次：企業人1年生
 - ・自ら調べ考える習慣、問題発見解決能力を身につける
 - ・知識に加え、人と共に働く力や自ら考え行動する力の向上を図る
 - ・プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する

1学年

2学年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 経済産業省 基本情報技術者試験													
2 経済産業省 応用情報技術者試験													
3 経済産業省 ITパスポート試験													
4 オラクル認定Java (Bronze)													
5 J 検情報活用2級, 1級													
6 COENT・CCNA													
7 漢検3級													
8 B 検ジョブパス3級													
9 MOS Excel													
10													
11													
12													
13													

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ハードウェア	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

ハードウェアに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	コンピュータの基本構成、CPU	コンピュータの5大装置、CPUの構成、命令語、命令実行の流れ、アドレス指定方式、CPUの性能、CPUアーキテクチャ、CPUの高速化技法
2	記憶装置、磁気ディスク装置	記憶階層、メモリの種類、メモリアクセスの高速化技術、キャッシュメモリ、メモリアンタリーブ、補助記憶装置、磁気ディスク装置、アクセス時間
3	入出力装置	入力装置、出力装置、入出力インタフェースの伝送方式、有線方式の入出力インタフェース、無線方式の入出力インタフェース
4	システム処理、システム構成方式、クライアントサーバシステム	バッチ処理、集中・分散処理、シンプレックス・デュプレックス・デュアルシステム、マルチプロセッサシステム、RAIDシステム、CSの特徴
5	高信頼設計、システムの性能評価、システムの信頼性	フォールトアボイダンス、フォールトトレランス、システムの性能指標、システムの性能評価方法、稼働率、RASIS、バスタブ曲線
6	基本情報技術者試験午前免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策(3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ソフトウェア	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

ソフトウェアに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	オペレーティングシステム(1)	オペレーティング(OS)の種類と特徴、OSの機能、ジョブ管理、タスク管理
2	オペレーティングシステム(2)	入出力管理、スプーリング、割込み、仮想記憶、記憶管理、データ管理
3	マルチメディア技術	各種データ形式、CG
4	開発ツール	言語処理ツール(コンパイラ、インタプリタ)、エミュレータ、シミュレータ
5	オープンソースソフトウェア、 ファイルシステム	OSSの種類と特徴、UNIX系OS、ファイルシステムの種類と特徴、 アクセス手法、ディレクトリ管理、相対パス、絶対パス、ファイル編成
6	基本情報技術者試験午前免除対策 (1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策 (2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策 (3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	システム設計	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

システム設計に関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	システム開発の基本、基本計画	開発手順・モデル、基本計画で行うこと、見積り、規模と工数の関係
2	外部設計(システム方式設計)	外部設計とは、E-R図、DFD、ヒューマンインタフェース設計、ユニバーサルデザイン、コード設計
3	内部設計(ソフトウェア方式設計)	内部設計とは、入力チェック方式、チェックディジット、レビュー手法
4	プログラム設計、プログラミング	プログラム設計とは、モジュール分割・独立性、プログラミングとは、構造化プログラミング、値渡しと参照渡し、デバッグ手法
5	テスト、移行・運用保守、オブジェクト指向設計	テスト手順、テスト種類(単体、結合、システム、運用、退行、移行)、移行作業、システム保守、障害対応手順、障害監視、特長、クラス図、シーケンス図
6	基本情報技術者試験午前免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策(3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	情報セキュリティ	分類	専門科目
担当	山口 弘展		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	40%	40%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

業務上だけでなく、日常生活においても必要な情報セキュリティの基礎について学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

社会人として必要な情報倫理を身につけ、情報セキュリティに対する意識を向上させる
どのような脅威があり、その脅威に対する対応策に関する知識を身につける

3. 注意点・要望

各授業の最後に確認テストを実施するので、理解度を把握し、必要に応じて復習や質問などを行うこと
原則として、講義を中心に授業を進めるが、適宜グループワークや簡単な実習も行うので、意欲的に取り組むこと

4. 関連科目

ネットワークとセキュリティ

週	テーマ	内容
1	午後問題対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
2	午後問題対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
3	午後問題対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
4	午後問題対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
5	午後問題対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
6	午後問題対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
7	情報セキュリティとは	情報セキュリティ/マルウェア
8	Webサイト利用者への攻撃	パスワードの不正利用・不正入手/Webサイト利用者への攻撃 など
9	サービスの妨害・脅威(1)	サービスの妨害・悪用/人的脅威 など
10	脅威(2)・暗号化技術	物理的脅威・その他の脅威/暗号化技術 など
11	認証技術	認証技術(デジタル署名を含む)
12	マルウェア・不正アクセス対策	マルウェア対策/不正アクセス対策 など
13	ネットワークセキュリティ	ネットワークセキュリティ/情報漏洩対策 など
14	情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティマネジメント
15	リスクマネジメント	ISMS/リスクマネジメント など
16	インシデント管理・関連法規	情報セキュリティインシデント管理/情報セキュリティ関連法規 など
17	後期試験期間	

備考

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	データベース	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

データベースに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと

4. 関連科目

Oracleデータベース設計、検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
2	排他制御と障害回復処理、 データベースの種類	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
3	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	基本演算の種類、SQL、テーブル定義、テーブル検索、 副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
4	ビュー定義、その他のSQL、 正規化対策	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
5	基本情報技術者試験午前免除対策 (1)	過去問題を使用した問題対策
6	基本情報技術者試験午前免除対策 (2)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策 (3)	過去問題を使用した問題対策
8	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
9	SQL対策(2)	副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
10	SQL対策(3)	総合演習
11	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	Oracleデータベース設計	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

基礎知識を応用した実践的なデータベース設計技術及びSQL定義・操作の学習
基本情報技術者試験の午後問題対策

2. 授業の目標(検定取得など)

販売管理データベース(正規化、コード設計、E-R図、SQL定義・操作)の完成
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各自進捗状況の把握を徹底し、納期内(期限内)完了を常に意識すること

4. 関連科目

データベース、検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験午後問題対策(1)	過去問題を使用した問題対策
2	基本情報技術者試験午後問題対策(2)	過去問題を使用した問題対策
3	基本情報技術者試験午後問題対策(3)	過去問題を使用した問題対策
4	基本情報技術者試験午後問題対策(4)	過去問題を使用した問題対策
5	基本情報技術者試験午後問題対策(5)	過去問題を使用した問題対策
6	基本情報技術者試験午後問題対策(6)	過去問題を使用した問題対策
7	データ分析	データ分析の重要性、データの関連性、データ項目の標準化、テストデータ作成
8	正規化、E-R図	非正規形から第3正規形への設計演習、E-R図作成演習
9	コード設計	コード設計の重要性、コード体系、コード設計演習
10	SQL	SQL定義・操作演習
11	総合演習(1)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
12	総合演習(2)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
13	総合演習(3)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
14	総合演習(4)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
15	総合演習(5)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
16	総合演習(6)	正規化、E-R図、コード設計、SQL定義・操作の総合演習
17	後期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ネットワークとセキュリティ	分類	専門科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

ネットワークとセキュリティに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと、
内容が非常に多いため、毎日最低1時間は復習を行い、知識の定着を図ること

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、情報セキュリティ

週	テーマ	内容
1	ネットワークとセキュリティの概要、 ネットワークの仕組み	授業の方針、ネットワークの基礎知識、LANの接続機器と接続形態、 ケーブルの種類、データ通信、OSI基本参照モデル
2	TCP/IP、IPアドレス(前半)	各階層のプロトコルと働き、ネットワークアドレスの計算、サブネットの仕組み、 IPアドレス枯渇化対策
3	IPアドレス(後半) ネットワークの性能	サブネットの仕組み、IPアドレス枯渇化対策、 データ伝送と回線利用率、回線利用率と伝送速度の計算
4	情報セキュリティ管理、 暗号化技術、認証技術	目的と脅威、コンピュータウイルス、リスクマネジメント、 暗号方式、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、インターネット上での暗号化技術
5	ネットワークセキュリティ	ファイアウォール、ネットワークの脆弱性と対策、 電子メールの脆弱性と対策、アプリケーションの脆弱性と対策
6	基本情報技術者試験午前免除対策 (1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策 (2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策 (3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	Java言語演習 I	分類	専門科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	新わかりやすいJava入門編(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

Java言語の基本的な使い方や基本制御構造、開発環境などについて学習する
テキストを使用して講義を行い、パソコンでプログラムを組み上げ、課題や筆記の小テストを実施し、知識の定着を図る

2. 授業の目標(検定取得など)

プログラムの作成、読解、エラーやバグなどの解析能力、コメントの付け方や動作確認の観点を身につける

3. 注意点・要望

2年次の授業でもJava言語を活用するため、1年次進級課題のプログラムはJava言語で作成する
IT業界の中で多く使われている言語はJava言語であるため、就職後の実務能力に直結することを意識して取り組むこと

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内容
1	導入	Java言語の特徴、動作環境と開発環境、Eclipseを使ったプログラミング方法、プログラムを記述する際のルールを学習する
2	Javaの基本	プログラムの構造、コメントの書き方、文字列の扱い方、画面出力の方法
3	変数	整数、実数、論理値などの基本データ型と、データを扱うための変数
4	式と演算子	加減乗除など代表的な演算子と、インクリメントやデクリメント、演算の優先順位について
5	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
6	分岐処理(1)	if文を使った分岐処理
7	分岐処理(2)	関係演算子と等価演算子、if～else文
8	分岐処理(3)	if文を使った複数の分岐処理と、switch文による分岐処理
9	繰り返し処理(1)	while文を使った繰り返し処理
10	繰り返し処理(2)	for文を使った繰り返し処理
11	配列(1)	配列とは 配列の宣言と配列の利用方法
12	配列(2)	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
13	配列(3)	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
14	配列(4)	多次元配列
15	授業課題	Java言語を用いた課題

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	Java言語演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	新わかりやすいJava入門編(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

オブジェクト指向プログラミングについて学び、総合演習として進級課題となるアプリケーションの開発を行うプログラミング知識の習得だけでなく、就職活動を見据えてJava検定の合格を目指す

2. 授業の目標(検定取得など)

オブジェクト指向を学び、アルゴリズムの考え方を活用して、自分でアプリケーション開発(進級課題)が行える力を身につけるオブジェクト指向を中心に学習し、オラクル認定Java(Bronze)に合格する

3. 注意点・要望

オラクル認定Java(Bronze)は知名度も高く、就職活動においても非常に有効である為、合格を目指す

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内容
1	クラス	オブジェクト指向の考え方、クラスの構造と作成方法
2	フィールド	フィールドの概要について
3	メソッド	メソッドの構造と作成方法、メソッドの呼び出し方を学習する
4	インスタンス	クラスとインスタンス生成について
5	メソッドの引数	メソッドの引数について
6	メソッドの戻り値	メソッドの戻り値について
7	カプセル化(1) Java検定対策(1)	カプセル化の目的とJavaでの実装方法を学習する Java検定の概要と、対策指針の説明、頻出項目への対応
8	カプセル化(2) Java検定対策(2)	ゲッターセッターの詳細と自動生成方法について サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
9	クラス図(1) Java検定対策(3)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成 サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
10	クラス図(2) Java検定対策(4)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成 サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
11	コンストラクタ(1) Java検定対策(5)	コンストラクタの概要と使い方について サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
12	コンストラクタ(2) Java検定対策(6)	コンストラクタの概要と使い方について サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
13	インスタンス配列 Java検定対策(7)	インスタンスの考え方 サーティファイJavaプログラミング能力認定試験3級対策
14	アプリケーション作成演習(1) Java検定対策(8)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題) JavaプログラマBronze対策
15	アプリケーション作成演習(2) Java検定対策(9)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題) JavaプログラマBronze対策
16	後期試験期間	
17	後期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	アルゴリズムとデータ構造	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

知識・理論を習得するための講義と問題演習を中心に行う
小テストを実施し、テーマの理解度を確認しながら進める

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

アルゴリズムの授業では、頭の中を整理するために問題文やデータの並び、動きを視覚化することが重要である
そのため問題を解く際には、それらを意識して取り組むこと

4. 関連科目

Java言語演習 I・II、検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	アルゴリズム(処理手順)、 流れ図(1)	アルゴリズム、流れ図の基本的な考え方、表現方法を理解する
2	流れ図(2)、配列データ構造(1)	順次、判定、繰返し、配列操作など処理手順の表現方法を理解する
3	流れ図総合問題演習	分岐、繰返し、配列の総合問題演習
4	疑似言語(1)	疑似言語の記述形式、データ型を理解する
5	疑似言語(2)	関数の呼び出し、引数、戻り値、大域変数を理解する
6	疑似言語(3)	分岐、多重分岐の処理手順の表現方法を理解する
7	疑似言語(4)	繰返し、多重繰返し、前判定、後判定の処理手順の表現方法を理解する
8	探索アルゴリズム(1)	線形探索の処理手順の表現方法を理解する
9	探索アルゴリズム(2)	2分探索の処理手順の表現方法を理解する
10	整列アルゴリズム	バブルソートの処理手順の表現方法を理解する
11	文字列処理アルゴリズム(1)	文字列操作の処理手順の表現方法を理解する
12	文字列処理アルゴリズム(2)	部分文字列検索の処理手順の表現方法を理解する
13	配列データ構造(2)	2次元配列の表現方法を理解する
14	配列データ構造(3)	リスト構造の表現方法を理解する
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	検定対策 I	分類	専門科目
担当	山口 弘展		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	20%	30%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の午前免除試験、ITパスポート試験に合格する為の受験テクニックを学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報処理技術者試験の午前免除試験に合格する
ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

状況に応じて各科目の確認テストも実施していくため、復習を怠らないこと

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジとマネジメント、データベース、システム設計、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、表計算演習、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内容
1	基礎理論(1)	情報の単位、2進数・8進数・16進数
2	基礎理論(2)	基数変換
3	基礎理論(3)	基数変換
4	基礎理論(4)	補助単位
5	基礎理論(5)	論理演算
6	基本情報技術者試験午前免除対策(1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策(2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策(3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	検定対策Ⅱ	分類	専門科目
担当	田所 博・石川 雄介		
テキスト (出版社)	2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック) 本校のオリジナルテキスト(ネットワーク)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	0%	0%	50%	50%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の午後試験対策、CCENTの試験対策、漢字検定の試験対策、MOSの試験対策

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午後試験に合格する、
CCENTに合格する、漢字検定に合格する、MOSに合格する

3. 注意点・要望

各試験については並行しての受験となる為、スケジュール管理を徹底すること

4. 関連科目

ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジとマネジメント、データベース、システム設計、国家試験対策、Java言語演習Ⅰ・Ⅱ、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、表計算演習、Office演習Ⅰ・Ⅱ、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内容
1	午後問題対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
2	午後問題対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
3	午後問題対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
4	午後問題対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
5	午後問題対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
6	午後問題対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
7	CCENT、漢字検定、MOS対策(1)	過去問題を使用した問題対策
8	CCENT、漢字検定、MOS対策(2)	過去問題を使用した問題対策
9	CCENT、漢字検定、MOS対策(3)	過去問題を使用した問題対策
10	CCENT、漢字検定、MOS対策(4)	過去問題を使用した問題対策
11	CCENT、漢字検定、MOS対策(5)	過去問題を使用した問題対策
12	CCENT、漢字検定、MOS対策(6)	過去問題を使用した問題対策
13	CCENT、漢字検定、MOS対策(7)	過去問題を使用した問題対策
14	CCENT、MOS対策(8)	過去問題を使用した問題対策
15	後期試験期間	
16	後期試験期間	
17	後期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	Office演習 I	分類	専門科目
担当	佐藤 薫		
テキスト (出版社)	よくわかるマスターMOS Excel 2016 対策テキスト&問題集 (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

MOS Excel2016の出題範囲に沿って学習

2. 授業の目標(検定取得など)

MOS Excel2016の学習を通して表計算の基本機能を習得する

3. 注意点・要望

テキストは必ず持参すること
習った機能は忘れないように復習すること

4. 関連科目

Office演習 II

週	テーマ	内容
1	1 ワークシートやブックの作成と管理	1-1 ワークシートやブックを作成する 1-2 ワークシートやブック内を移動する
2		1-3 ワークシートやブックを設定する 1-4 ワークシートやブックのオプションと表示をカスタマイズする
3		1-5 配布するためにワークシートやブックを設定する
4		確認問題
5	2 セルやセル範囲のデータ管理	2-1 セルやセル範囲にデータを挿入する 2-2 セルやセル範囲の書式を設定する
6		2-3 データをまとめる、整理する
7		確認問題
8	3 テーブルの作成	3-1 テーブルを作成する、管理する 3-2 テーブルにスタイルを適用する
9		3-3 テーブルをフィルターする、並べ替える
10		確認問題
11	4 数式や関数を使用した演算の実行	4-1 関数を使用してデータを集計する
12		4-2 関数を使用して条件付きの計算を実行する
13		4-3 関数を使用して書式を設定する、文字列を変更する
14		確認問題
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	Office演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	佐藤 薫		
テキスト (出版社)	よくわかるマスターMOS Excel 2016 対策テキスト&問題集 (FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	0%	80%	20%	100%		

1. 授業の概要

MOS Excel2016の出題範囲に沿って学習、模擬試験を中心に受験対策をする

2. 授業の目標(検定取得など)

MOS Excel2016の学習を通して表計算の基本機能を習得し、MOS Excel2016を取得する

3. 注意点・要望

テキストは必ず持参すること
うる覚えの機能がないようにしっかり練習すること

4. 関連科目

Office演習Ⅰ

週	テーマ	内容
1	5 グラフやオブジェクトの作成	5-1 グラフを作成する 5-2 グラフを書式設定する
2		5-3 オブジェクトを挿入する、書式設定する 確認問題
3	MOS試験対策	第1回 模擬試験
4		第2回 模擬試験
5		第3回 模擬試験
6		第4回 模擬試験
7		第5回 模擬試験
8		確認テスト
9		ランダム模擬試験
10		ランダム模擬試験
11		ランダム模擬試験
12		ランダム模擬試験、試験前の仕上げ
13	PowerPoint	基本操作の練習
14		プレゼン資料の作成
15	後期試験期間	
16		
17		

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習 I	分類	教養科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	社会人基礎力入門書 http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事での運営により養う

2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠 社会に出る前に真の協調性を学ぶ

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力入門書を読み、今後の成長展望を立てる
2	主体性	主体性とは何かを理解し、実行してみる
3	働きかけ力	働きかけ力とは何かを理解し、実行してみる
4	実行力	実行力とは何かを理解し、実行してみる
5	課題発見力	課題発見力とは何かを理解し、実行してみる
6	計画力	計画力とは何かを理解し、実行してみる
7	創造力	創造力とは何かを理解し、実行してみる
8	発信力	発信力とは何かを理解し、実行してみる
9	傾聴力	傾聴力とは何かを理解し、実行してみる
10	柔軟性	柔軟性とは何かを理解し、実行してみる
11	状況把握力	状況把握力とは何かを理解し、実行してみる
12	規律性	規律性とは何かを理解し、実行してみる
13	ストレスコントロール力	ストレスコントロール力とは何かを理解し、実行してみる
14	総合演習	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	やってみなはれ演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	社会人基礎力入門書 http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事での運営により養う

2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠 社会に出る前に真の協調性を学ぶ

4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	総合演習(1)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
2	総合演習(2)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
3	総合演習(3)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
4	総合演習(4)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
5	総合演習(5)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
6	総合演習(6)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
7	総合演習(7)	イベントの企画立案を通して、12の能力要素を成長させる
8	実践演習(1)	自らが企画立案を行い、実行してみる
9	実践演習(2)	自らが企画立案を行い、実行してみる
10	実践演習(3)	自らが企画立案を行い、実行してみる
11	実践演習(4)	自らが企画立案を行い、実行してみる
12	実践演習(5)	自らが企画立案を行い、実行してみる
13	実践演習(6)	自らが企画立案を行い、実行してみる
14	実践演習(7)	自らが企画立案を行い、実行してみる
15	実践演習(8)	自らが企画立案を行い、実行してみる
16	実践演習(9)	自らが企画立案を行い、実行してみる
17	後期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ストラテジとマネジメント	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	20%	30%	50%	100%		

1. 授業の概要

ストラテジとマネジメントに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午前免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	プロジェクトマネジメント概要、 日程管理、コスト管理	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、 アローダイアグラム、進捗管理、見積り技法
2	リスク管理、サービスマネジメント、 システム監査	リスク、リスクの識別、リスク対応計画、ITIL、SLA、 システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
3	経営戦略、情報システム戦略、 業務改善、システム化企画	経営戦略、企業提携、情報システム戦略の目的・立案、システム管理基準、 BPR、ソリューションサービス、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム
4	企業の組織、財務会計、棚卸評価、 財務分析、損益分岐点分析	企業活動、経営組織、財務諸表、棚卸評価、 財務分析、費用、利益、損益分岐点分析
5	オペレーションズ・リサーチ、 知的財産権、労働と契約の法制度	オペレーションズ・リサーチ、線形計画法、在庫管理、QC七つ道具、 インダストリアルエンジニアリング、知的財産権の種類、労働者派遣法
6	基本情報技術者試験午前免除対策 (1)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験午前免除対策 (2)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験午前免除対策 (3)	過去問題を使用した問題対策
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	ITパスポート試験対策(7)	チェックシートを使用した試験問題対策

備考

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	表計算演習	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	0%	50%	50%	100%		

1. 授業の概要

知識・理論を習得するための講義と問題演習を中心に行う
小テストを実施し、テーマの理解度を確認しながら進める

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午後試験に合格する

3. 注意点・要望

基本情報技術者試験の合格だけを目的とせず、実務に繋がる学習を行うこと

4. 関連科目

検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	表計算ソフトのイメージを掴む(1)	基本的な用語の説明、簡単な計算式 相対参照、絶対参照について
2	表計算ソフトのイメージを掴む(2)	Excelを利用してどのような操作ができるかの説明 簡単な計算式、他のセルへのコピーなどを実施
3	簡単な関数(1)	合計、平均、整数部、余剰、個数関数の解説と課題
4	簡単な関数(2)	最大、最小、切り上げ、切り捨て、四捨五入の解説と課題
5	比較演算子	比較演算子を使った条件式、IF関数の解説と課題
6	論理式	論理積、論理和関数など、条件の入れ子の解説と課題
7	基本情報に出題傾向が高い関数(1)	照合検索関数の解説
8	基本情報に出題傾向が高い関数(2)	垂直照合、水平照合関数の解説
9	基本情報に出題傾向が高い関数(3)	照合一致、表引き関数の解説
10	基本情報に出題傾向が高い関数(4)	条件付き個数、条件付き合計関数の解説
11	午後問題対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
12	午後問題対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
13	午後問題対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
14	午後問題対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ビジネス実務	分類	教養科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	2019年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト (日本能率協会マネジメントセンター)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した技術知識を身につける

2. 授業の目標(検定取得など)

ビジネス能力検定ジョブパス3級に合格する

3. 注意点・要望

プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること

4. 関連科目

やってみなはれ演習 I・II

週	テーマ	内容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する 仕事への取り組み方を通して、社会人を意識する
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、実践できるようにする
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効果的な仕事の進め方を理解する
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告・連絡・相談のポイントとその仕方を学ぶ
6	ビジネス対応	個々のビジネス事例にどのように対応してゆくのかを学ぶ
7	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアからの情報収集能力を養う
8	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う
9	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ
10	検定対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う
11	検定対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う
12	検定対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う
13	ビジネスケース(1)	仕事の取り組みに関するケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決を学び、ビジネス全般を把握する
14	ビジネスケース(2)	営業、接客、訪問などに関するケースを踏まえて、具体的なビジネス問題解決を学び、ビジネス全般を把握する
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	国家試験対策	分類	専門科目
担当	田所 博		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験対策テキスト 平成29-30年度版(FOM出版) 2019春 徹底解説 基本情報技術者 本試験問題(アイテック)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	8
	0%	0%	0%	0%	50%	50%	100%		

1. 授業の概要

基本情報技術者試験の試験対策、応用情報技術者試験の試験対策

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の午後試験に合格する、応用情報技術者試験に合格する

3. 注意点・要望

基本情報技術者試験の合格だけを目的とせず、高度試験に繋がる学習を行うこと

4. 関連科目

システム設計、表計算演習、データベース、Oracleデータベース設計、アルゴリズムとデータ構造、
ストラテジとマネジメント、検定対策Ⅰ・Ⅱ、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ

週	テーマ	内容
1	午後問題対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
2	午後問題対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
3	午後問題対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
4	午後問題対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
5	午後問題対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
6	午後問題対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した午後問題対策
7	応用情報技術者試験対策(1)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
8	応用情報技術者試験対策(2)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
9	応用情報技術者試験対策(3)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
10	応用情報技術者試験対策(4)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
11	応用情報技術者試験対策(5)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
12	応用情報技術者試験対策(6)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
13	応用情報技術者試験対策(7)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
14	応用情報技術者試験対策(8)	応用情報技術者試験の過去問題を使用した午前及び午後問題対策
15	後期試験期間	
16	後期試験期間	
17	後期試験期間	

備考	
----	--

